

10. 電子部品・デバイス

概要

2024年の中国のGDP成長率は政府目標である5.0%前後を達成する5.0%だった。商品小売額では家電買い替え支援策の効果もあり、通信機器が前年比9.9%増、家電・音響機器が12.3%増と消費を下支えした。2025年はデジタルエコノミーなどの新たな分野の成長、消費刺激策などの実施、改革開放の推進などを通じた発展が期待されている。

2024年中国電子部品・デバイス関連データ

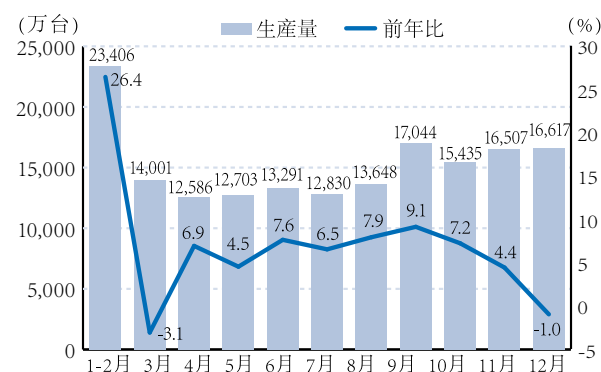
世界半導体市場統計 (WSTS) が発表した関連データによると、2024年12月時点での世界半導体市場の規模は、前年比19%増の6,270億ドルに拡大した。2025年の予測規模は半導体市場が回復し、前年比11.2%増の6,970億ドルに達する見込みである。

工業情報化部のデータによると、2024年の中国国内電子情報製造業の一定規模 (年間営業収入2,000万元) 以上の企業営業収入は前年比7.3%増の16兆1,900億元、営業利益は前年比3.4%増の6,408億元となった。電子情報製造業の輸出額は2024年前年比2.2%増となり、製品別の輸出台数は、ノートパソコンが前年比1.7%増の1億4,300万台、携帯電話機が前年比1.5%増の8億1,400万台、集積回路 (IC) が前年比11.6%増の2,981億個で推移した。また、2024年の電子情報製造業の固定資産投資額は前年比12.0%増となり、一定規模以上の電子情報製造業の付加価値額は前年比11.8%増となった。

なお、工業情報化部は5Gを活用した工業化を推進しており、既に「5G+インダストリアルインターネット」において、電子機器製造、装置製造、鉄鋼、採鉱といった10の重点産業で優先的に発展し、遠隔設備操作、マシンビジョン検査、無人知能巡回検査など20種類の典型的な応用シナリオを形成し、700の高水準な5G工場が完成した。さらに、工業情報化部は「5G+インダストリアルインターネット」512プロジェクトアップグレード版実施方案を発表し、2027年までに5Gを生産現場に活用する5G工場の数1万カ所、5Gと工業インターネットの融合・応用を推進する試験都市を20都市以上形成することを目標とした。

2024年の携帯電話機の生産量は前年比7.8%増の16億8,069万台、スマートフォンは前年比8.2%増の12億5,000万台だった。特に、1～2月は携帯電話機が前年同期比26.4%増の2億3,406万台、スマートフォンが前年比31.3%増の1億7,240万台となった。

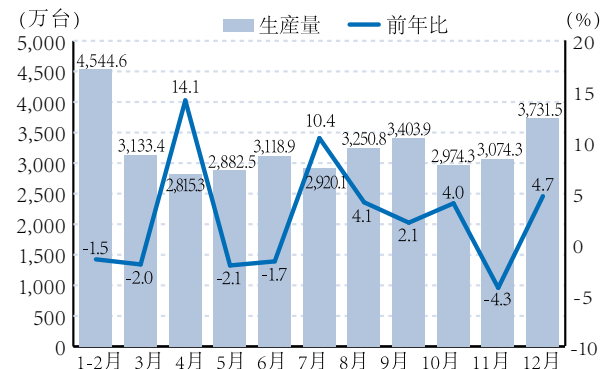
図1：携帯電話機生産量 (2024年 月次)



出所：国家統計局

2024年のPCの生産量は前年比2.6%増の3億5,850万台だった。また、税関統計によるとノートパソコンの輸出台数は前年比1.7%増の1億4,300万台だった。

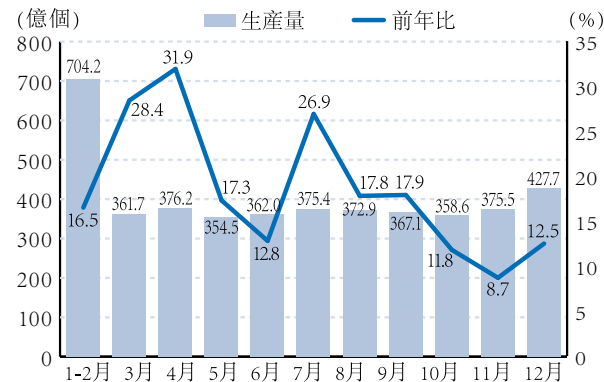
図2：PC生産量 (2024年 月次)



出所：国家統計局

2024年のICの生産量は前年比22.2%増となった。11月の前年同月比8.7%増を除き、その他の月はすべて2桁増で推移した。

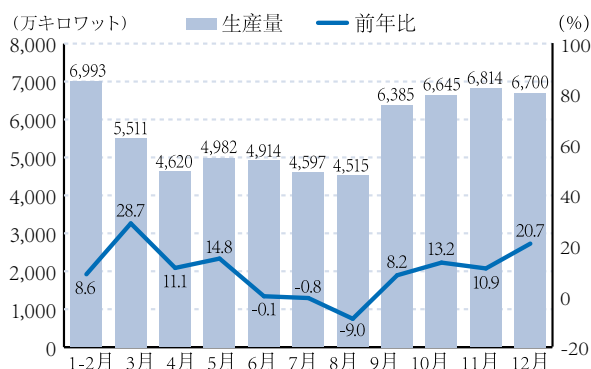
図3：IC生産量 (2024年 月次)



出所：国家統計局

2024年の太陽光電池の生産量は前年比15.7%増の6億2,675万キロワットだった。3月は前年同月比28.7%増と大きな伸びを示したが、6～8月は前年同月比でマイナスとなった。

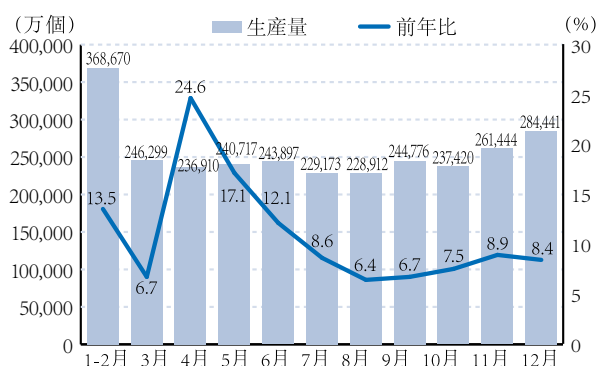
図4：太陽光電池生産量（2024年 月次）



出所：国家統計局

2024年のリチウム電池の生産量は前年比13.7%増の2桁増となった。4月をピークに下期は伸びが減速したが、各月で前年同月比プラスを維持した。

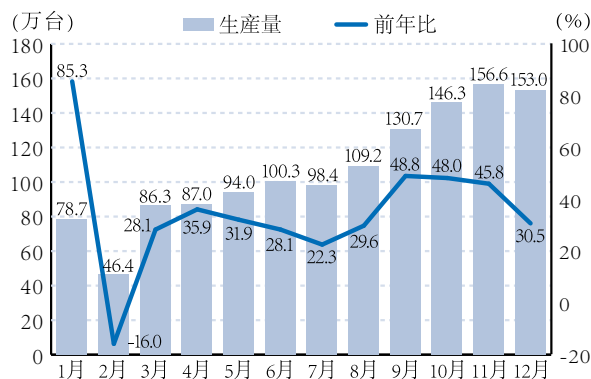
図5：リチウム電池生産量（2024年 月次）



出所：国家統計局

中国自動車工業協会の統計によると、2024年の新エネルギー自動車の生産量は前年比34.4%増の1,288万8,000台に拡大した。輸出台数は前年比6.7%増の128万4,000台となったが、伸び率は2022年の2.2倍、2023年の77.6%増から鈍化している。

図6：新エネルギー車生産量（2024年 月次）



出所：中国自動車工業協会

2025年の展望

米国のIT専門調査会社のインターナショナルデータグループ (IDC) と浪潮情報が共同発表した「2025年中国AIコンピューティングパワー発展評価報告」では、大規模言語モデル (LLM) と生成系AIの誕生が演算能力の需要を押し上げていると報告されている。中国のスマート演算能力は成長ピッチが予想を超えたとされ、さらに、DeepSeekの出現により中国では「DeepSeek旋風」が起きており、大手IT企業はDeepSeekを採用した生成AI開発を鮮明にしている。中国のAI演算市場規模は2024年に前年比86.9%増の190億ドルまで成長した。2025年は36.2%増の259億ドルに拡大する見通しと報告している。また、LLMの実用化需要が急ピッチに拡大するなか、高性能演算能力の供給不足、利用率の低迷という問題に直面していると指摘し、演算能力の増強と効率化を両輪で展開する必要があるとの見方を提示した。

世界半導体市場統計 (WSTS) の2024年秋季予測 (2024年12月3日公表) によると、2025年の中国の半導体市場は前年比11.2%増と予測した。特に、AI関連ではデータセンター投資の継続に加え、AI機能搭載端末の増加など、裾野の広がりが半導体需要拡大にも寄与すると見込んだ。また、世界経済の緩やかな拡大も半導体需要を押し上げると期待した。この結果、メモリ製品やGPUなどのロジック製品以外の製品でも前年比プラス成長に回帰すると予測した。

国家発展改革委員会と財政部は2025年1月8日、「2025年の大規模設備更新と消費財買い替えの推進への支援強化に関する通知」を発表。同通知を受け、商務部など5部門が1月13日に「スマートフォン、タブレット端末、腕時計型端末の購入補助金実施法案」を公布、同補助金措置を具体化した。2025年には中央政府の消費促進策の実施を受け、中国のスマートフォン市場は拡大を維持するとの予測を示した。

<建議>

① 政府出資基金の外資企業への開放 (建議先：工業情報化部)

外資企業は政府出資基金より投資・出資金を受け入れることが困難である。特に、半導体関連基金等では外資は事実上、排除されている。在中国生産品が「中国原産」だと認定された場合、当該基金等からの投資・出資金受入れが中国現地企業と同等に扱われることを要望する。また、政府調達関連制度で「原産地認定」が決定した場合、当該基金も同様に扱われることを要望する。